



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月6日

上場会社名 東京コスモス電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6772 URL <http://www.tocos-j.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岩崎 美樹
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 飯嶋 正明 (TEL) 046-253-2111
 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	2,300	49.4	231	—	244	—	145	—
2021年3月期第1四半期	1,539	△31.8	△62	—	△85	—	△139	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 181百万円(—%) 2021年3月期第1四半期 △126百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	96.13	—
2021年3月期第1四半期	△90.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	12,774	4,098	32.1
2021年3月期	13,084	3,947	30.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 4,098百万円 2021年3月期 3,947百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	20.00	20.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,100	3.0	120	146.8	80	△60.4	30	—	19.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	1,581,250株	2021年3月期	1,581,250株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	66,046株	2021年3月期	66,009株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	1,515,213株	2021年3月期1Q	1,549,906株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(会計方針の変更)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響が継続しており、各国で対応に苦慮している状況が見られ、先行きは依然として不透明な様相を呈しております。米国、欧州や中国では経済活動の再開により一部では回復がみられるものの、全体としては企業業績や個人消費がいまだ、軟調に推移しており、景気は一進一退を繰り返しております。日本経済は首都圏において緊急事態宣言並びにまん延防止等重点措置が延長され、個人消費や企業業績ともに、停滞する状況となりました。

当社グループの属する電子部品業界においては、次世代通信規格「5G」関連需要等中期的には需要の拡大が予想されるものの、足元においては新型コロナウイルス感染症の影響が継続しており、生産拠点の操業規制及び世界景気の回復鈍化に加え、特に自動車関連各分野において生産が、徐々に回復しているものの、電子部品の需要は低調な状態が続きました。

このような情勢下、当社グループは生産力を向上させるとともに、より当社グループの製品開発力を生かした営業活動を強化してまいりました。依然として、新型コロナウイルス感染症の影響は残るものの、中国等を中心に受注が回復しつつあり、生産部門も需要の増加から生産活動を強化いたしました。その結果、売上高は2,300百万円（前年同四半期比49.4%増）と大幅な増収となりました。

利益面では生産子会社を中心に稼働率の上昇による生産工場の損益の改善に加え、当社において4月末に特別退職制度を使用した退職者が発生したため、固定費が減少いたしました。その結果、営業利益は231百万円（前年同四半期は営業損失62百万円）となりました。営業外損益は、受取手数料10百万円が発生したため、経常利益は244百万円（前年同四半期は経常損失85百万円）となりました。特別利益に新型コロナウイルス感染症関連として助成金等収入を計上し、対応する給与補償として臨時休業等による損失を計上し、さらに繰越欠損金に対する繰延税金資産の一部に評価性引当金を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は145百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失139百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ309百万円減少し12,774百万円となりました。主な要因は、現金及び預金2,913百万円（前連結会計年度末3,097百万円）は特別退職金等の支払いがあったため減少し、投資その他の資産に含まれる保険積立金が43百万円減少したことにより、投資その他の資産が557百万円（前連結会計年度末650百万円）となったことによるものであります。

負債は460百万円減少し8,676百万円（前連結会計年度末9,136百万円）となりました。長短の有利子負債が213百万円、退職給付に係る負債が221百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて151百万円増加し4,098百万円（前連結会計年度末3,947百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、2021年5月14日に公表しました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,097,204	2,913,377
受取手形及び売掛金	1,935,644	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	1,939,098
電子記録債権	658,989	693,696
商品及び製品	664,082	679,092
仕掛品	318,750	323,759
原材料及び貯蔵品	677,034	719,339
その他	331,913	260,173
貸倒引当金	△6,164	△6,539
流動資産合計	7,677,454	7,521,998
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,206,332	1,193,432
機械装置及び運搬具（純額）	863,631	902,739
土地	1,715,871	1,715,871
その他（純額）	732,972	659,856
有形固定資産合計	4,518,807	4,471,899
無形固定資産		
リース資産	197,134	185,065
その他	40,632	37,920
無形固定資産合計	237,767	222,985
投資その他の資産	650,002	557,790
固定資産合計	5,406,576	5,252,675
資産合計	13,084,031	12,774,673
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	645,159	657,739
電子記録債務	608,811	621,677
短期借入金	1,902,000	1,807,000
1年内返済予定の長期借入金	711,580	657,958
未払法人税等	69,132	52,441
賞与引当金	107,001	151,913
その他	651,351	568,254
流動負債合計	4,695,036	4,516,985
固定負債		
長期借入金	2,617,164	2,586,084
役員退職慰労引当金	29,284	4,646
退職給付に係る負債	827,099	605,825
長期末払金	—	27,499
再評価に係る繰延税金負債	314,794	314,794
その他	653,408	620,370
固定負債合計	4,441,750	4,159,218
負債合計	9,136,786	8,676,203

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,277,000	1,277,000
利益剰余金	1,960,587	2,075,941
自己株式	△78,497	△78,532
株主資本合計	3,159,089	3,274,408
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,803	73,182
土地再評価差額金	734,519	734,519
為替換算調整勘定	△7,099	17,925
退職給付に係る調整累計額	△4,067	△1,566
その他の包括利益累計額合計	788,155	824,060
純資産合計	3,947,245	4,098,469
負債純資産合計	13,084,031	12,774,673

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	1,539,951	2,300,772
売上原価	1,284,921	1,750,370
売上総利益	255,030	550,401
販売費及び一般管理費	317,195	319,156
営業利益又は営業損失(△)	△62,164	231,244
営業外収益		
受取利息	268	108
受取配当金	3,799	4,250
受取手数料	—	10,000
補助金収入	15,678	—
その他	13,824	14,944
営業外収益合計	33,571	29,303
営業外費用		
支払利息	7,794	12,824
為替差損	22,455	2,342
製品補償損失	24,000	—
その他	2,505	1,247
営業外費用合計	56,754	16,415
経常利益又は経常損失(△)	△85,348	244,132
特別利益		
投資有価証券売却益	86	713
助成金等収入	51,108	11,006
特別利益合計	51,194	11,719
特別損失		
固定資産除売却損	1,562	270
投資有価証券売却損	45	—
臨時休業等による損失	47,137	10,234
特別損失合計	48,744	10,504
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△82,898	245,347
法人税、住民税及び事業税	26,781	44,835
法人税等調整額	30,010	54,853
法人税等合計	56,792	99,688
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△139,690	145,658
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△139,690	145,658

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△139,690	145,658
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,285	8,379
為替換算調整勘定	446	25,025
退職給付に係る調整額	3,233	2,500
その他の包括利益合計	12,966	35,905
四半期包括利益	△126,724	181,563
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△126,724	181,563

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これによる影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる、四半期連結累計期間等に係る四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	可変抵抗器	車載用電装 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	699,295	809,595	1,508,891	31,060	1,539,951	—	1,539,951
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	699,295	809,595	1,508,891	31,060	1,539,951	—	1,539,951
セグメント利益又は セグメント損失(△)	97,239	△17,637	79,602	△3,640	75,961	△138,126	△62,164

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、混成集積回路、生産設備・金型、各種スイッチ等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△138,126千円であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	可変抵抗器	車載用電装 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,048,697	1,201,294	2,249,991	50,780	2,300,772	—	2,300,772
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,048,697	1,201,294	2,249,991	50,780	2,300,772	—	2,300,772
セグメント利益	230,148	118,805	348,954	14,994	363,948	△132,704	231,244

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、混成集積回路、生産設備・金型、各種スイッチ等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△132,704千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更した為、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告区分に基づき作成したものを開示しております。